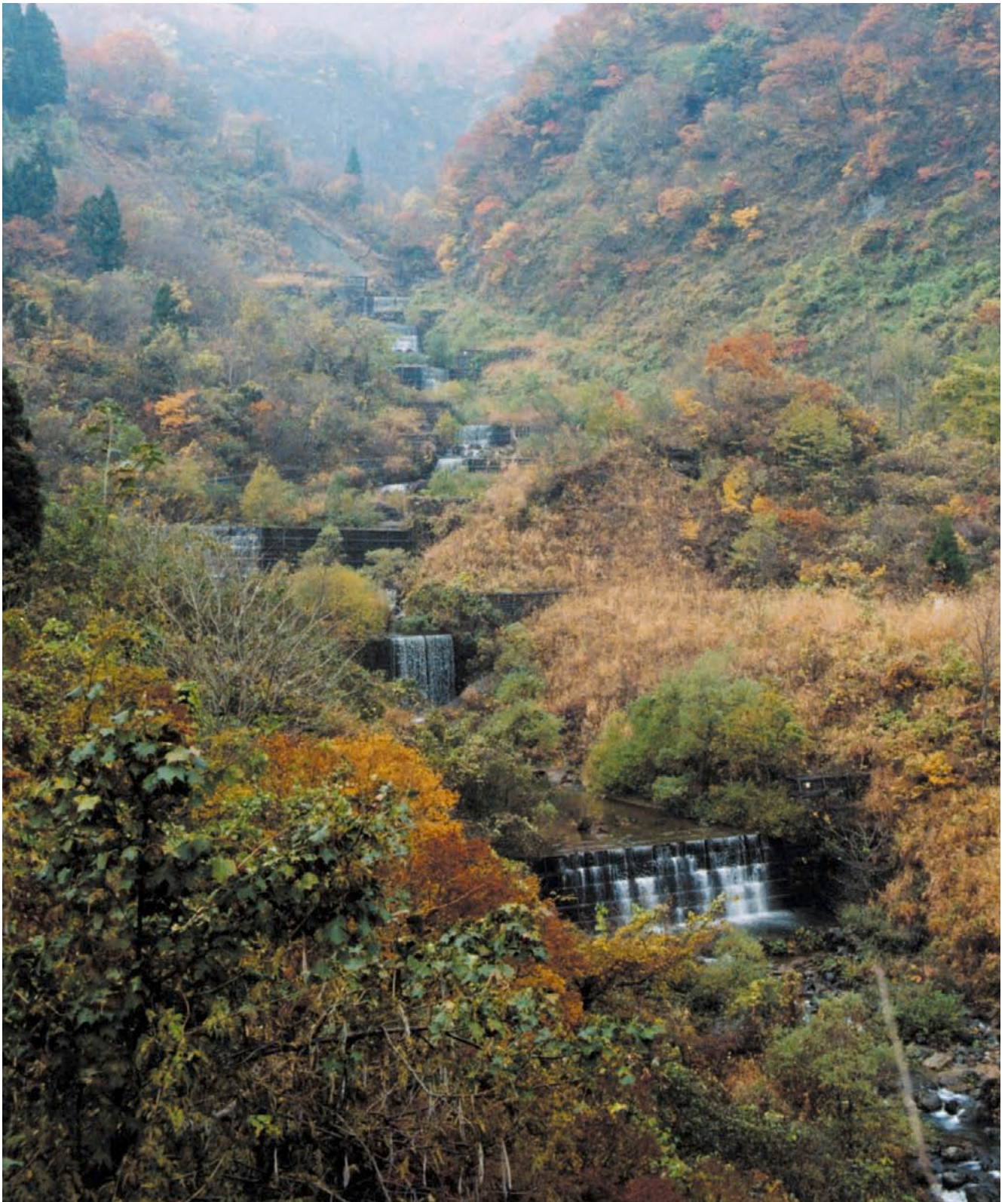


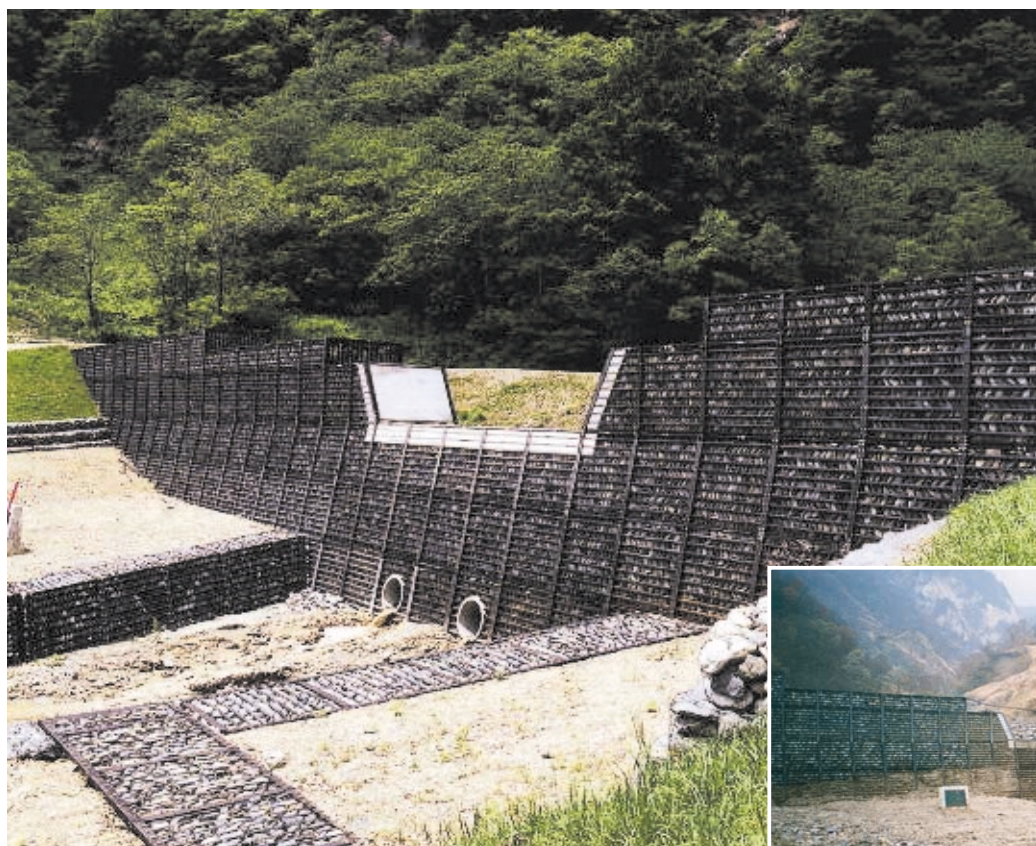
不透過型の効果— 堆砂・抑止

鋼製銃枠



虫川 堆砂で安定した河床に植生が回復 堤高4～6m 昭和55年～昭和60年[新潟県]

鋼製自在枠



平常時



土石流捕捉後の上流の土砂堆積状況 平成8年撮影



耳尾沢(姫川水系) 平成12年4月融雪時に土石流が流下 堤高8m 平成8年設置[長野県]

鋼製組枠

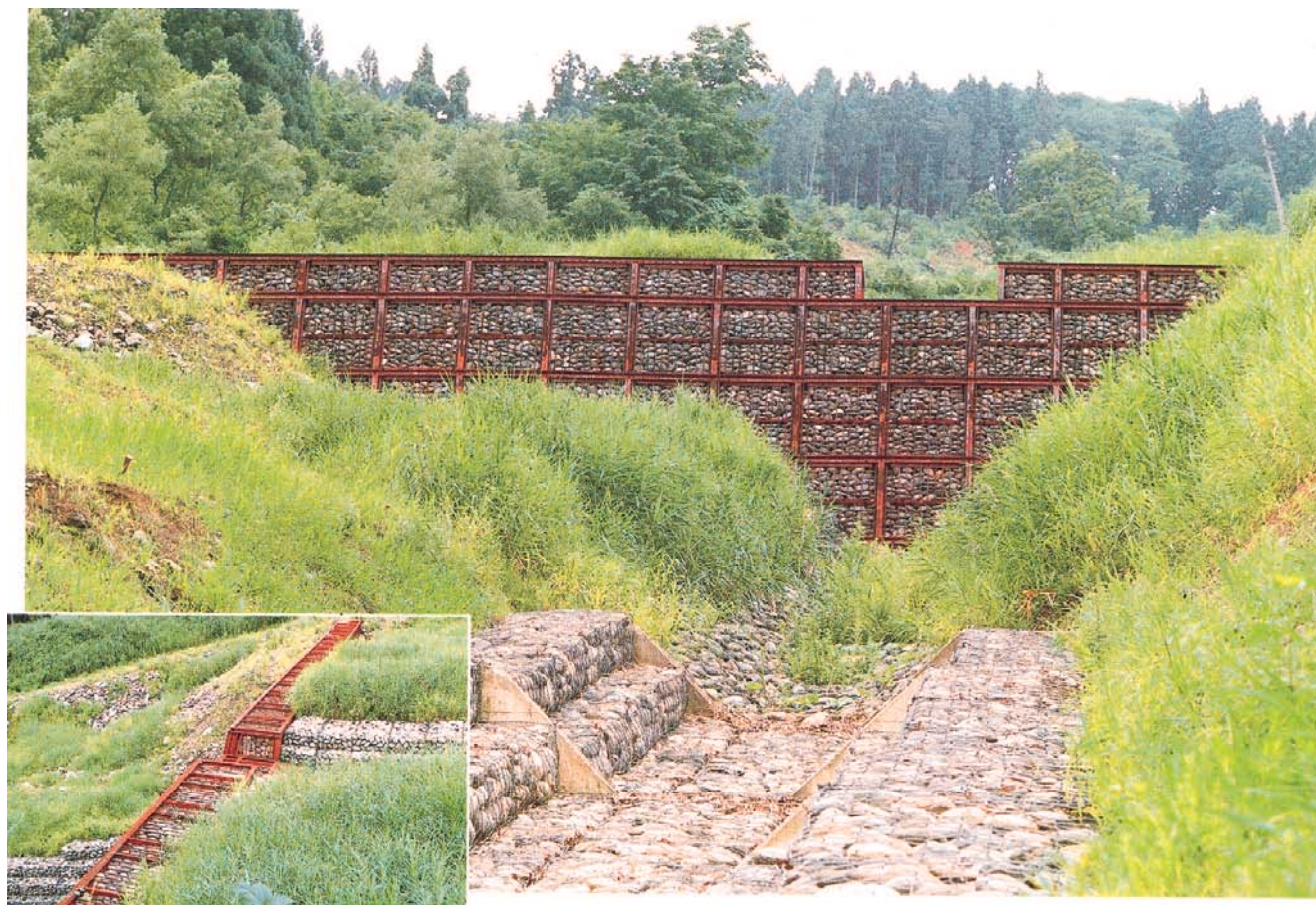


〔 埼玉県 〕



えん堤上流部が満砂となり堆砂域が安定して植生の回復が見られる 〔 長野県 〕

鋼製箱枠

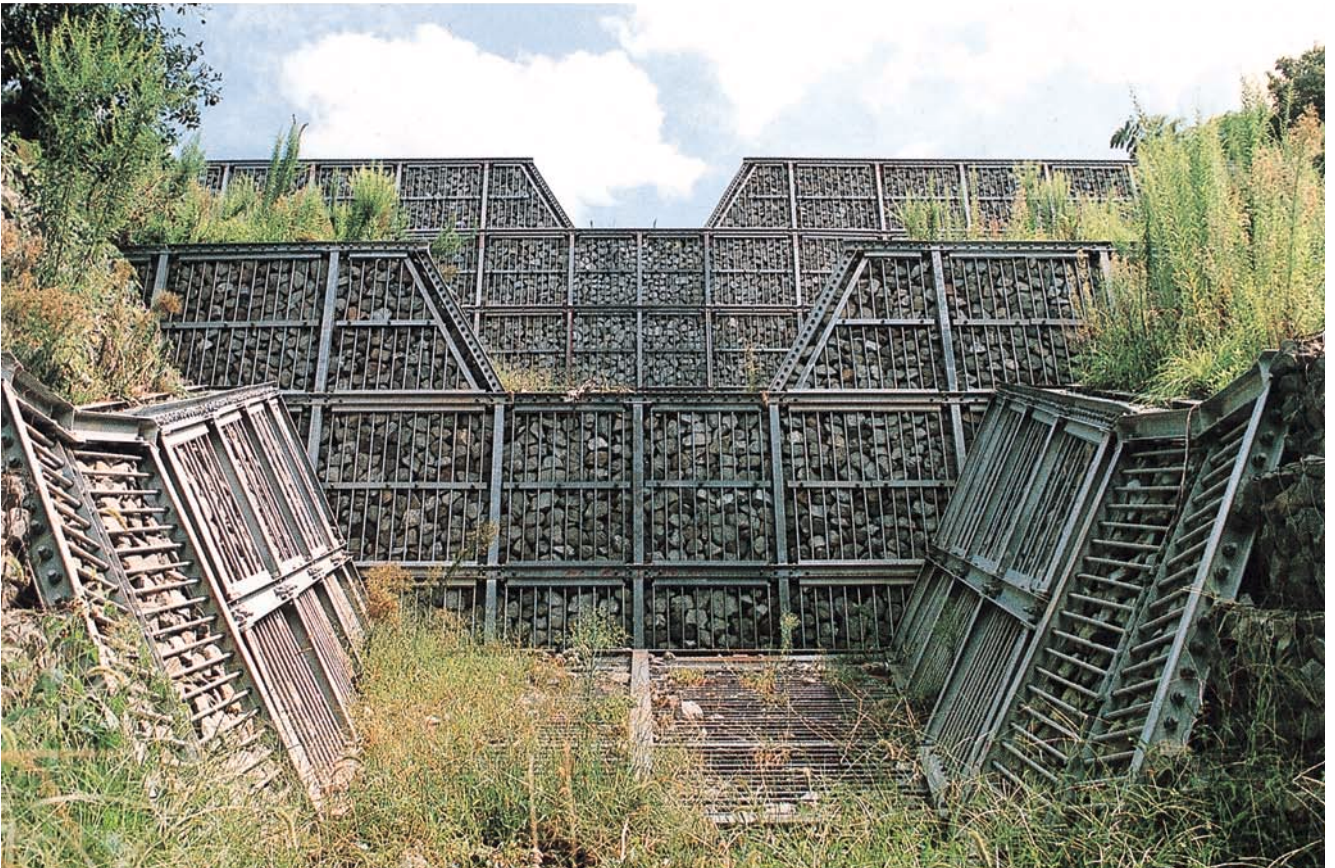


[新潟県]



[新潟県]

鋼製箱枠



[和歌山県]



[新潟県]

鋼製統枠



虫川上流部の荒廃した山腹

上流部のえん堤が満砂になり、河道が安定して
植生の侵入も見られる



虫川 中流部のえん堤も満砂になっているが、土砂を調節している 堤高6m 昭和55年[新潟県]

鋼製続枠



床固工群として設置された鋼製続枠の不安定土砂扞止効果、縦浸食防止効果により河床が安定し、溪岸部から徐々に植生が回復している。



浮沼川 堤高3m 平成6年度[岐阜県]

鋼製ダブルウォール



フラン谷川砂防えん堤 堤高12m、堤長58m 平成6年[熊本県]



温泉街を保全するため、谷出口に設置されたフラン谷川砂防えん堤。副堤に流木止め工のスリットえん堤A型が施工された



鋼製スクリーンえん堤



満砂で土砂を堆積・抑止し、植生の侵入が見られる(上下) 昭和47年[山形県]

鋼製スクリーンえん堤



上流部の荒廃した斜面から土砂が流出



満砂になった鋼製スクリーンえん堤 昭和40年代後半[新潟県]